



日本のプロ野球で「鉄人」といえば広島カープの衣笠幸雄である。その衣笠の連続試合出場記録を破ったのがボルチモア・オリオールズの鉄人カル・リブケンである。リブケンは1999年9月、2,632試合連続出場の大記録をつくった。

オリオールズの看板は間違いなくリブケンだったが、そのリブケンは今季限りでの引退を表明している。今年で41歳だ。そのリブケンが7月のオールスターにも登場した。シアトル・マリナーズのイチローと佐々木の出場のため日本でもテレビ観戦した人が多かったと思うが、主役はやはりリブケンだった。

リブケンは最初の打席、満場のスタンディング・オベーションで迎えられた。西海岸のシアトルでは東海岸のボルチモアのファンは少なかったはずだが、誰もが鉄人の業績に敬意を表したのである。

その直後、リブケンの打球はぐんぐん伸びてスタンドに入った。たいた役者である。オールスターのMVP(最優秀選手賞)はリブケンに贈られた。

8月16日、ボルチモアのカムデン・ヤードに、オリオールズ対カンザス・シティ・ロイヤルズ戦を見に行った。ワシントンDCにはメジャーリーグのチームがなく、一番近いのがメリーランド州北部のボルチモアにあるオリオールズである。ワシントンDCからワシントン・ボルチモア・パークウェイを歩いてみた。パークウェイが切れたところすぐスタジアムが見えてくる。ちなみにオリオールとは、この近辺で見られる鳥の名前である。



今月のビデオ 鉄人リブケン

土屋大洋

(GLOCOM主任研究員 / メリーランド大学国際開発・紛争管理センター訪問研究員)



平日のデーゲームにかかわらず、全米でも有数の美しい球場として知られるカムデン・ヤードに4万人が詰めかけた。かんかんと照りつける日差しの中、ホットドッグをほおばったり、ビールをおいながら、思い思いに観戦する。そろそろ新学期のことが気になりだす時期の子どもたちも大声を張り上げる。併設するショップで一番売れているのはリブケン・グッズだ。普通のオリオールズのTシャツなら20ドル、リブケンの名前と背番号8が入ったTシャツは23ドルである。

よく日本のプロ野球と比較していわれるように、観客席と選手との距離が近い。両者を隔てるネットがバックネット裏にしかない(日本では内野席全面にあることが多い) ネットがないから選手が気軽にサインに応じることができる。太鼓やメガホンをたたき音が聞こえないから、外野席でもバットがボールに当たったときの音がはっきり聞こえる。シートがゆったりしているのもうれしい。

リブケンは5番指名打者で出場である。大歓声に迎えられたリブケンは、第1打席、大きなホームラン性のファウルの後、クリーン・ヒット。第2打席もクリーン・ヒット。第3打席は内野ゴロに倒れるが、第4打席は再びヒットでランナーを返す。

最終回、ランナー2人を残してツーアウト。あと1人出塁すればリブケンに第5打席目が回ってくる。しかし、四番打者が打ち取られ、リブケンにチャンスは回ってこなかった。結局試合は2対9でオリオールズの完敗。リブケンはこの日、4打数3安打1打点であった。

リブケンが去った後の来年のオリオールズ人気は大丈夫なのかと気になるが、ひとまず今年のオリオールズは、リブケン人気で観客動員数を伸ばすに違いない。

帰宅すると、短パンをはいていたので、ひざからは日焼けでひびひ、顔は真っ赤であった。夏の野球観戦はナイターのほうが良さそうだ。

ビデオをご覧になりたい方は下記URLへ
<http://www.glocom.ac.jp/top/publication.j.html>

